

合議局號及受送月							主任局號及受送月						
第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	
送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	

丙

決 判 月 日 施 行 2 月 12 日

起案 大正十五年二月五日 局送 主任  
 警保局長 第110號

警保課長

事務長

此方局長

二月日 警保局長

未育者局長 办

公認競馬設道之弊不之息是事ノ件

二月日附終癸乙第第八〇號ノ以ノ山石手



内務省警保局  
小柳孝六殿

31-2

在中物なし

自轉車、自動自轉車  
自動車、各種發動機  
各附屬品及部分機

輸出入卸

株式  
會社

横山商會

長電話(三宮)二五九番  
振替口座大阪八七七三番

横山利彦

神戸市磯上通八丁目

大正

14

年

11

月

7

日

第 第  
號 號  
送 送  
月 月  
日 日

縣盛岡市會議長ヨリ提出ノ標記意見  
書ノ寫差違ハ處其ノ後同縣會議長  
高橋團治ヨリ別紙寫ノ通 同趣旨ノ意見  
見事ノ提出有之ハ案可出 府處理部

岩手縣 縣

勅 第 一 八 〇 九 號

大正十五年一月廿八日

岩手縣知事 得 能

内務大臣 若 槻 禮 次 郎 殿

内務 告 15.1.0 (警) 56

公認競馬設置ニ關スル意見書副申

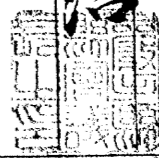
今般縣會ノ決議ニヨリ別紙公認競馬場設置ニ關スル意見書提出候處馬産ノ主要  
地タル本縣ニ公認競馬場ノ設置ヲ見サルハ甚々遺憾トスル所ニ有之願意御採用  
相成度此段及副申候也



候也

大正十四年十二月二十二日

岩手縣會議長 高橋國治



內務大臣 岩槻禮次郎殿

(赤澤 謹啓)

丙

決 判 月 日 施 行 月 日

案 起 大正十五年一月十八日 局 送 主任

局長 課長

行 警 合 第 五 號

合 第 號	議 第 號	局 第 號	及 第 號	受 第 號	送 第 號	月 日
送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受
月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日

事 月 日 警 備 課 長

公 認 競 馬 設 置 之 意 見 書 件

大正十五年一月十八日 岩手縣會議長 高橋國治

會議長 赤澤隆次郎 標記  
見書函有大臣忠之想生以爲  
貴有主及事坂下波存以  
差進下  
半在取所 案可送原處  
取取取

(馬經)

競馬法

第一章 馬ノ改良増進及馬車馬具ノ普及  
 國ノ多ク月日之民其第三章向來ノ法  
 之主義爲臣ノ徳可ク受ク己ノ車  
 競馬ノ行ノ事ヲ得

競馬法施行規則

第二章 競馬法第一章ノ規定ニ依ル  
 爲之ニ定款ノ補充ノ揚グ  
 負事ノ爲ル爲商界ノ爲ニ  
 爲之ニ定款ノ補充ノ揚グ  
 負事ノ爲ル爲商界ノ爲ニ

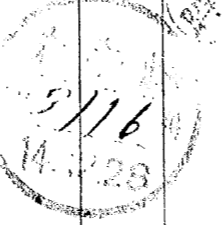
附則  
 行ノ事  
 行ノ事  
 行ノ事







公認競馬設置ニ関スル  
意見書



岩手縣ハ古來帝國ノ冀北トシテ軍  
 用ニ民用ニ其ノ名聲全國ニ知ラル、  
 處々リ外國種馬ノ購入其ノ他改良  
 増殖ニ畜産上甚カラサル國家的貢  
 献ノ歴史ヲ有ス然ルニ大正十二年四  
 月九日法律第四十七號競馬法ニ依  
 ル時ハ競馬ヲ行フ法人ノ數ハ當分ノ内  
 全國僅ニ十一ヶ所以内ニ制限セラレ  
 小縣ノ如キ産馬地ヲ度外視セララル、

(甲十二)

結果ヲ生スルニ至リタルハ誠ニ遺憾ト  
スル所ナリ依テ本市ハ市ノ公益ノ爲  
メ盛岡市ニ公認競馬設置ヲ速カニ許  
可セラレンコトヲ望ム  
右市制第四十六條ニ依リ意見書提  
出候也

大正十四年十二月廿五日

岩手縣盛岡市會議長 赤澤隆次



内務大臣 若槻禮次郎殿